

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉援助実習指導 I			選択	2	3	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
齊藤 晋治		B308	s-saito		水曜・木曜 12:10~13:00	
授業の目的・概要		<p><目的> 精神保健福祉士の役割を理解するとともに、専門職養成における実習の意義、目的を理解できる。さらに、精神保健福祉の現状を理解するとともに、実習施設・機関の種別とそれぞれの援助方法について理解することを目的としている。</p> <p><概要> 5回までは講義形式で授業を展開する。7回目以降は調べ学習をGWでおこなう。グループに出される課題を消化し、次回授業時に発表する。</p>				
学習上の助言		授業時間以外のグループ学習も求められるため、積極的な姿勢で授業に参加することが必要である。				
教科書		新・精神保健福祉士養成講座9 精神保健福祉援助実習指導・実習 中央法規出版				
参考書		「学外実習の手引き」(健康科学大学福祉心理学科編集)				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉援助実習の概要を説明することができる。				HSU (2) 精(1)(2)	
②	精神保健福祉援助実習の意義・目的を理解できる。				HSU (2) 精(1)(2)	
③	精神保健福祉援助実習施設について説明できる。				HSU (6) 精(1)(2)	
④	精神保健福祉施策の沿革を説明できる。				HSU (6) 精(1)(2)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	授業オリエンテーション: 授業概要、学習方法を理解する	登校型授業講義	教科書を読む。			1
2	精神保健医療福祉の現状の理解①	登校型授業講義	教科書を読む。レジュメの復習。			2
3	精神保健医療福祉の現状の理解②	登校型授業講義	教科書を読む。レジュメの復習。			2
4	精神保健福祉援助実習の意義・目的について学ぶ①	登校型授業講義	資格取得動機についての整理。レジュメの復習。			2
5	精神保健福祉援助実習の意義・目的について学ぶ②	登校型授業講義	実習の意義についての整理。レジュメの復習。			2
6	精神保健福祉援助実習の意義・目的について学ぶ③	登校型授業講義	実習の目的についての整理。レジュメの復習。			2
7	実習先種別を理解する(精神科医療機関・行政機関)①	登校型授業GW	教科書を読む。レジュメの復習。			6
8	実習先種別を理解する(精神科医療機関・行政機関)②	登校型授業GW	教科書を読む。レジュメの復習。			6
9	実習先種別を理解する(精神科医療機関・行政機関)③	登校型授業GW	教科書を読む。レジュメの復習。			6
10	実習先種別を理解する(障害福祉サービス事業所)①	登校型授業GW	教科書を読む。レジュメの復習。			6
11	実習先種別を理解する(障害福祉サービス事業所)②	登校型授業GW	教科書を読む。レジュメの復習。			6
12	実習先種別を理解する(障害福祉サービス事業所)③	登校型授業GW	教科書を読む。レジュメの復習。			6
13	精神保健福祉施策を理解する①	登校型授業GW	教科書を読む。レジュメの復習。			6
14	実習報告会へ参加する	登校型授業講義	発表会レジュメを復習する			1
15	精神保健福祉施策を理解する②	登校型授業GW	教科書を読む。レジュメの復習。			6
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	精神保健福祉士に必要な知識が総合的に備わっているかを評価する。これまで学習してきた各科目から問題を出題する。				試験問題についての振り返りを行い、知識の定着を図る。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</p> <p>担当教員：◎齊藤 晋治、古川 奨</p> <p>教員の実務経験 齊藤晋治：精神科ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 15 年の臨床経験。 古川 奨：ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 9 年の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、精神保健福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p>								